

# IGF 2022報告会について決めたい事項

1. 会の位置づけ、フォーカスの決定
    - a. IGF 2022の内容の共有
    - b. IGF 2023にセッション(ワークショップ等)提案をチームとして行うかどうか、その件について会で扱うか
    - c. IGF 2023を日本でやることになった意義の共有
  2. 2月9日木曜日14時から17時までの3時間で枠を押さえた
  3. イベントの長さの確定→3時間
  4. オンライン開催とするか、会場を借りてハイブリッドで開催するかを決める→ハイブリッドとする
  5. 登壇者の確定
  6. 挨拶者を決める
  7. ニューカマー向けセッションや特別セッションのようなものをやるか、やるなら担当を決める
    - a. 平日午後という日程ならニューカマーのリアル視聴・リアル参加はほぼ期待できないので、そちらの方は別途作成される予定の前村さんスライドに委ねて、イベント自体はプロ向けが良いと思います(実積さん意見)。
    - b. JANOGなどから参加する方向けに、ある程度用意はするが臨機応変に
  8. 活発化チームが主催するか、JPNIC/JAIPAか→活発化チームが主催する
  9. 日本IGFタスクフォースにはどのように関わってもらうか
  10. 全体の司会者の決定
- 

## プログラム案

- 全体司会を高松さんにお引き受けいただけることになった
- 挨拶(20分)
  - 主催団体である活発化チームチェアに加藤さんが挨拶する
  - タスクフォース副会長(江崎氏)とかに依頼する→TF自体の紹介もお願いしたい【事前録画】
  - 日本政府のどなたか(総務省国際戦略局のどなたか?)から【依頼済み】
- IGFとは何か?(30分)<ニューカマー向け>
  - 報告会中のプログラムとする。ビデオも作成する
    - 既存のビデオ・スライドを使えないか(前村(igf2021:1108))
    - 進行は誰が行うのか?→前村が行う

- 30分で収まるよう、ビデオのさわりだけ流して、後はスライドで説明する
      - ビデオを事前に見ておいてください、でよいのでは？
- IGF 2022参加者による報告(80分)
  - 全体概要＋フラグメンテーション(事務局、10分)
  - 飯田(5～10分)
  - 河内:MAGから見たIGF(5～10分)
  - 小宮山(5～10分)→JPCERT/CC登山さんが発表【OK】
  - 高松(5～10分)全体【OK】
  - 立石(5～10分)【OK】
  - 八田(5～10分)【OK】
  - 堀田(5～10分)インフラからヒューマンファクターへの移り変わり、規制・法制化関連
- 質疑応答＋今後に向けて(60分)
  - 質疑応答
  - IGF 2023に向けた提言の議論
    - IGFのお作法、失敗談など共有できれば／IGFセッション提案体験談→小林さんに依頼してみる【OK】
      - [以前のIGF報告会での小林さんのプレゼン](#)、特に7ページ以降にセッション提案のコツが書かれている
    - 日本／京都で議論する内容について
      - タスクフォースから意見を言ってもらおうと議論が盛り上がる、参加者がイメージしやすいのでは？
      - タスクフォースと活発化チームが同期する必要は必ずしもないのでは？
    - それでいいのかIGF、的な議論？
    - 秋イベントで未来志向、という話はどうするか？→小林さんにJANOG BoFで話した内容を紹介してもらってどうか
    - モデレーター:上村さんはいかがか【OK】、何を打ち出すのか明確にする必要がある
    - ゴールは何か？
      - IGF2023で議論すべきテーマを抽出し上部団体に提案する

- ワークショップ提案をしたい人に自信をつけること
  - 日本として提案したいという人が出てくること
  - より優先的なセッションがあればそちらをターゲットに
- まとめ／締め／挨拶(3分)→形式的な挨拶、加藤さんに行っていただく